



園庭や公園の木々の葉っぱも散り始め寒さも一段と厳しくなってきました。いよいよ冬がやって来たことを感じます。そんな中でも子どもたちは元気いっぱい走りまわっています。寒さに負けない元気な声が響いています。

子どもたちの様子

☆給食さんが「フルーツを入れるお皿を忘れました！」と持ってきてくれました。一人の子が「ありがとう」と言うと、真似をして子どもたちが口々に「ありがとう」と言っていました。大人が教えるのではなく、子ども同士の育ちは日々の生活の中にたくさんあることに改めて気付くことができました。子どもたちの「ありがとう」の声に心が癒されました。

☆散歩に行くと地域の方々とすれ違うことが多くあり、保育士が「おはようございます」と言うと、子どもたちも一緒に、きちんとごあいさつしています。

☆子ども同士でおもちゃの取り合いやたたいてしまった時など、子どもたちはまだ上手に自分の気持ちを伝えられない為、保育士が仲立ちをしています。そんな様子を見て子どもたちがその場に集まってきて、「何怒ってるの？」と一言、そんなに怒っているつもりはないのに…。子どもたちにはそのように思われてしまったのか…と自己反省。子どもたちに教えられています。



そう組さんが畑で育てたさつまいもを焼き芋にしてみんなで食べました。りす組は畑で育てているさつまいもを散歩の時から気になって見ていたので、よけいにおいしく感じたようです。青空の下ほくほくの焼き芋を食べ、子どもたちの表情はニコニコでした。



★個人面談はお忙しいところ、ご家庭の様子をお伝えいただき、ありがとうございました。

★今年も残りひと月になりました、いろいろとご協力ありがとうございました。冬休みはゆっくりとお過ごしください。